

# 第12期東京都生涯学習審議会 第1回全体会

## 次 第

令和4年1月28日（金曜日）午後6時から午後8時まで  
オンライン開催  
（事務局会場：都庁第二本庁舎16階教育委員会室）

- 1 開会
- 2 東京都教育庁からの挨拶
- 3 委員紹介
- 4 説明事項：東京都生涯学習審議会の概要について
- 5 会長及び副会長の選出
- 6 議事  
第12期審議会における審議事項について（事務局案）
- 7 今後の予定
- 8 閉会

### 【配布資料】

資料 第12期東京都生涯学習審議会第1回全体会 審議資料

参考資料1 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備にかかる法律

参考資料2 東京都生涯学習審議会条例

参考資料3 東京都生涯学習審議会これまでの答申・建議一覧

※別途郵送資料 「『未来の東京』戦略」

# 第12期東京都生涯学習審議会委員

(任期：令和4年1月13日から令和6年1月12日まで)

| 氏名                  | 所属                                      |
|---------------------|---|
| エビハラ ショウコ<br>海老原 周子 | 一般社団法人kuriya 代表理事                       |
| サイ ヒロミ<br>笹井 宏益     | 玉川大学 特任教授                               |
| サワオカ シノ<br>澤岡 詩野    | 公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員                  |
| シンダ マナミ<br>志々田 まなみ  | 国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官                |
| タケダ カズヒロ<br>竹田 和広   | 一般社団法人ウィルドア 共同代表理事                      |
| ノグチ アキナ<br>野口 晃菜    | 株式会社LITALICO研究所 所長                      |
| ヒロシ タクジ<br>広石 拓司    | 株式会社エンパブリック 代表取締役                       |
| フクモト ミチヨ<br>福本 みちよ  | 東京学芸大学教職大学院 教授                          |
| マツヤマ アキ<br>松山 亜紀    | 株式会社セールスフォースドットコム 社会貢献部門 ディレクター         |
| ヨコタ ミホ<br>横田 美保     | 特定NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)<br>事務局長 |

第12期東京都生涯学習審議会  
第1回全体会 審議資料

令和4年1月28日

# 第1回全体会 次第

- 1 開会
- 2 東京都教育庁からの挨拶
- 3 委員紹介
- 4 説明事項: 東京都生涯学習審議会の概要について
- 5 会長及び副会長の選出
- 6 議事
- 7 今後の予定

## 2 東京都教育庁からの挨拶

東京都教育庁地域教育支援部長

小 菅 政 治

### 3 委員紹介

海老原 周子 委員

野口 晃菜 委員

笹井 宏益 委員

広石 拓司 委員

澤岡 詩野 委員

福本 みちよ 委員

志々田 まなみ 委員

松山 亜紀 委員

竹田 和広 委員

横田 美保 委員

## 4 説明事項

# 東京都生涯学習審議会の 概要について

# 東京都生涯学習審議会の役割

## 【法的根拠】

### ○生涯学習の振興に係る施策の推進体制の整備に関する法律 第10条第1項

- ・都道府県に、都道府県生涯学習審議会を置くことができる

### ○東京都生涯学習審議会条例(平成4年3月31日)

#### (設置)第一条

- ・東京における生涯学習の振興に関し、長期的な展望に立って、広い視野から検討

#### (所掌事項)第二条

- 1 都教育委員会又は知事の諮問による都民の生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項の調査審議
- 2 審議会は、前項第1号に規定する事項に関し必要と認める事項を教育委員会又は知事に建議



# 行政が振興する「生涯学習」とは？

## 【教育基本法】

### 第1章 教育の目的及び理念

#### (生涯学習の理念)第3条

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」

### 第2章 教育の実施に関する基本

#### (社会教育)第12条

「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行なわれる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない」

#### (学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力)第13条

「学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする」

# 国における「生涯学習」の捉え方の変遷

昭和63・7 文部省「社会教育局」を「生涯学習局」に改組

平成2・6 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律制定（通称：生涯学習振興法）

平成18・12 **教育基本法改正**  
生涯学習の理念（第3条）、学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力（第13条）等  
を新設

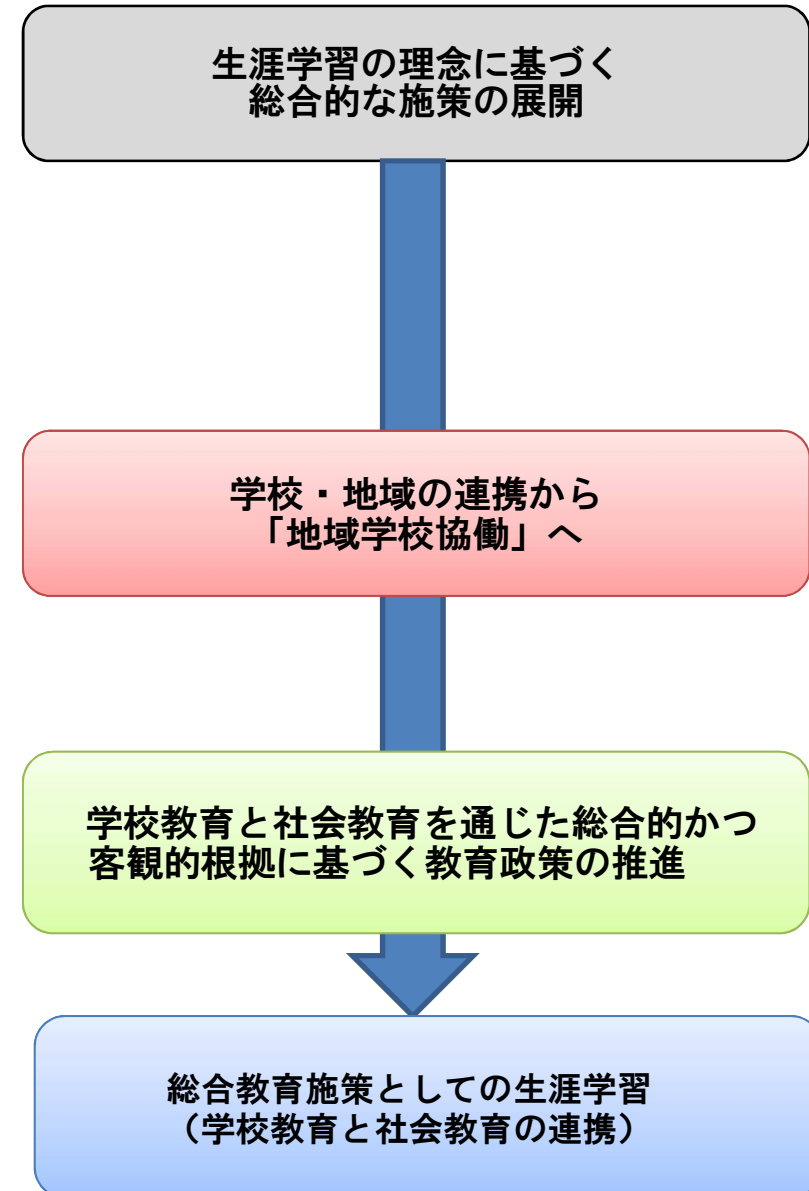
平成20・6 **社会教育法改正**  
教育基本法改正を踏まえ、社会教育行政の任務として、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進等について規定追加

平成27・12 **中央教育審議会答申**  
「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と推進方策について」

平成29・3 **社会教育法改正**  
「地域学校協働活動」を教育委員会の事務に

平成30・10 文科省「生涯学習政策局」を「総合教育政策局」に改組

令和3年5月 第11期中央教育審議会生涯学習分科会発足



## 5 会長・副会長の選出

東京都生涯学習審議会条例では、

第6条第1項「審議会に会長及び副会長を置く。」

第6条第2項「会長、副会長は、委員が互選する。」  
となっております。

## 6 議事

# 第12期審議会における審議事項について (事務局案)

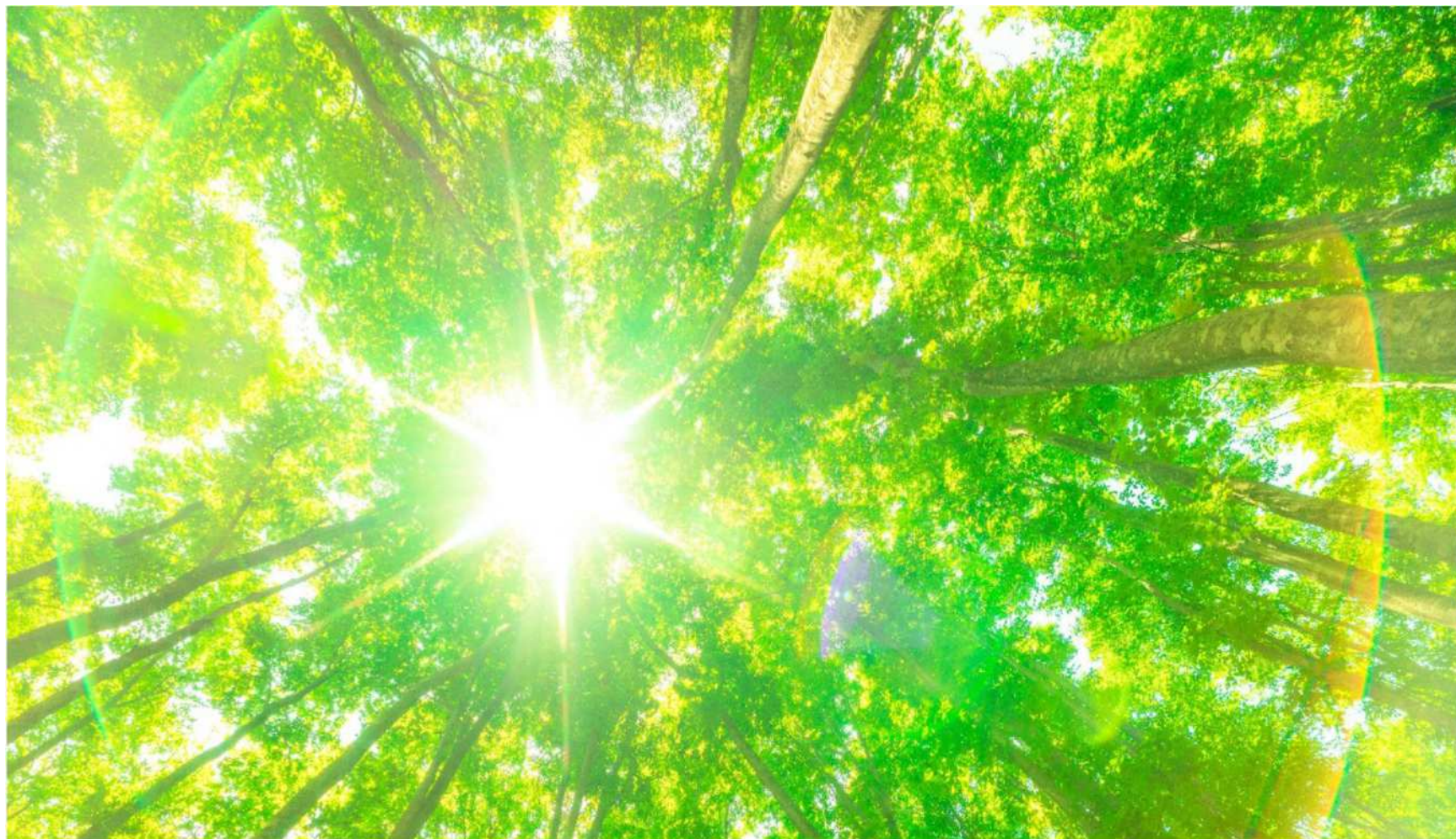
## 事務局からの提案

今期の審議会は、「諮問」というスタイルは取りませんが、事務局から審議事項の提案をさせていただきたいと思います。

テーマ(案)

「これからの地域コミュニティづくりに貢献する都立学校の在り方について」





# 「未来の東京」戦略

令和3(2021)年3月  
東京都

～渋沢・後藤の精神を受け継ぎ、新たな地平を切り拓く～



# 我々が目指す2040年代の20の「ビジョン」

おおむね四半世紀先である2040年代を念頭に、我々が目指す「未来の東京」の姿を提示



- 01 子供の笑顔と子供を産み育てたい人で溢れ、家族の絆と社会が支える東京
- 02 新たな教育モデルにより、すべての子供・若者が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ東京
- 03 女性が自らの希望に応じた生き方を選択し、自分らしく輝いている東京
- 04 高齢者が人生100年時代に元気に活躍し、心豊かに暮らす東京
- 05 誰もが自分らしくポジティブに働き、活躍できる東京
- 06 様々な人が共に暮らし、多様性に富んだ東京
- 07 誰もが集い、支え合う居場所・コミュニティが地域の至る所に存在する東京
- 08 災害の脅威から都民を守る強靱で美しい東京
- 09 犯罪、事故、火災への対処、病気への備えなど、暮らしの安心が守られた東京
- 10 高度な都市機能と自然が調和し、人が集い、憩う東京
- 11 最高の交通ネットワークが構築された便利で快適な東京
- 12 デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、都民が質の高い生活を送る「スマート東京」(東京版Society 5.0)
- 13 世界中からヒト・モノ・カネ・情報が集まる、世界一オープンな東京
- 14 次々と新しい産業が生まれる、世界一のスタートアップ都市・東京
- 15 世界一の高い生産性を実現した、世界経済を牽引する東京
- 16 水と緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京
- 17 ゼロエミッション東京
- 18 文化やエンターテインメントで世界を惹きつける東京
- 19 スポーツが日常に溶け込んでいる、スポーツフィールド・東京
- 20 全国各地との連携を深め、真の共存共栄を実現した東京



# 2030年に向けた「戦略」

「ビジョン」の実現に向け、2030年に向けて取り組むべき20+1の戦略を提示

## 20+1の「戦略」

### 戦略0 感染症に打ち克つ戦略

戦略1 子供の笑顔のための戦略

戦略2 子供の「伸びる・育つ」応援戦略

戦略3 女性の活躍推進戦略

戦略4 長寿 (Chōju) 社会実現戦略

戦略5 誰もが輝く働き方実現戦略

戦略6 ダイバーシティ・共生社会戦略

戦略7 「住まい」と「地域」を大切にする戦略

戦略8 安全・安心なまちづくり戦略

戦略9 都市の機能をさらに高める戦略

戦略10 スマート東京・TOKYO Data Highway戦略

戦略11 スタートアップ都市・東京戦略

戦略12 稼ぐ東京・イノベーション戦略

戦略13 水と緑溢れる東京戦略

戦略14 ゼロエミッション東京戦略

戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略

戦略16 スポーツフィールド東京戦略

戦略17 多摩・島しょ振興戦略

戦略18 オールジャパン連携戦略

戦略19 オリンピック・パラリンピックレガシー戦略

戦略20 都政の構造改革戦略

- 未来の東京を切り拓くために、**新型コロナに打ち克つ取組を戦略0**に位置付ける
- 政策面からの視点である3C (Community、Children、Chōju) を、戦略の核に据える



1. 新たな「東京型教育モデル」推進プロジェクト



○ 子供たちの個性や能力に向き合い、その成長を社会全体で支える、新たな「東京型教育モデル」を展開

東京の強みを活かし、子供目線を大切にする「学び」への転換

学び方・教え方・働き方を転換する教育のデジタル化

「教員の経験知」と「テクノロジー」のベストミックス  
 学校での学習と家庭でのオンライン学習を活用した学習のハイブリッド化  
 個別最適化された学びや主体的・対話的な学びへ  
 詳細は「TOKYOスマート・スクール・プロジェクト」へ

外部人材の積極的活用

✓ 専門性が高く授業を実施できる外部人材を講師として活用  
 【活用例】外国語教育、プログラミング教育等  
 ✓ 特に教職に高い適性がある者を対象に特別免許状を授与できるルートを確立

小学校教科担任制の導入

✓ 推進校において、高度な指導力が求められる理科・体育について専科教員が授業を実施  
 ⇒ 導入学年や対象教科等の拡充を順次検討  
 ✓ 併せて研究開発協議会を立ち上げ、オンラインを活用した教育活動の事例を研究・開発

教員の資質向上

✓ オンライン研修の導入により、研修の質向上・子供と向き合う時間を確保  
 ✓ 教職大学院等への派遣により、指導理論や優れた実践力等を習得 など

一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばす学び

■ Society 5.0時代を切り拓くイノベーション人材の育成  
 ✓ STEAM教育などを通じ自らの人生を主体的に生き抜く力を育むとともに、AI・IoT等を駆使して新たなイノベーションを生み出すことのできる人材を育成  
 ■ 専門的職業人材の育成  
 ✓ 急速に進む技術革新に対応した新たな工業高校の姿を明らかにし、東京のものづくりを担う専門的職業人材を育成  
 ⇒ 詳細は「Society 5.0時代の人材育成プロジェクト」へ

誰一人取り残さないきめ細かな教育

■ インクルーシブな教育の推進  
 ✓ 障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の教育的ニーズに的確に応え、多様な学びの場を備えたインクルーシブな教育を推進  
 ■ 子供たちの心身の健やかな成長に向けたサポート  
 ✓ 子供たちの悩みにきめ細かく応え、不登校児童・生徒の学習機会を確保するなど、学校や社会全体で成長を支援  
 ⇒ 詳細は「学校や社会全体で子供を支えるプロジェクト」へ

新たな東京型教育モデル

～個性や能力に向き合いきめ細かくサポート～



■ 子供の意欲に応え能力を伸ばす高大連携教育プログラムの推進  
 ✓ 様々な分野に特色・強みをもつ各大学と連携した、教育プログラムを展開  
 《連携大学例》東京都立大学、東京農工大学、電気通信大学、東京学芸大学

■ 子供・若者の起業家精神の醸成  
 ✓ 小中学校の教育方針に沿った起業家教育プログラムの策定支援  
 ✓ 実際に法人設立を目指す高校生向けの養成プログラム等を実施

■ 世界に羽ばたきグローバルに活躍する人材の育成  
 ✓ 外国人の子供との学びや海外での実体験等を通じて、高度な語学力と豊かな国際感覚を身に付けるプログラムを展開  
 ⇒ 詳細は「GLOBAL Student」プロジェクトへ

■ 幼小の接続を円滑にする連携プログラムの展開

✓ 就学前教育と小学校教育の一層の円滑な接続を図るため、区市町村と協働研究を実施し、幼小連携プログラムを開発・展開



■ 自ら考え課題解決につなげる探究的な学びを展開

✓ 都立高校において、探究的な学びを通じて地域社会が抱える課題の解決を図り、地域の将来を担う人材を育成

✓ 指定校を中心とした大学、企業等によるコンソーシアムを構築し、専門的な知見を活用した研究活動を推進

- 【探究課題の例】
- 安全なまちづくりと防災
  - 地場産業の振興と地域への就労 など

## 1. 自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト



- 高齢者をはじめ、誰もが元気で心豊かに、自分らしく暮らせる地域の実現に向けて、意欲ある区市町村が多様な主体と連携し、地域資源を活用しながら、デジタルデバイド対策や幅広いデジタル活用により、QOL向上を図る取組等を都が強力に支援。成果検証し、都内全域に展開



### 3か年のアクションプラン（主要）

| 具体的な取組                  | 2020年度末<br>(見込み) | 年次計画   |                 |                 |
|-------------------------|------------------|--------|-----------------|-----------------|
|                         |                  | 2021年度 | 2022年度          | 2023年度          |
| 区市町村の先駆的・分野横断的取組を包括的に支援 | 新たな補助スキームの制度設計   | 4自治体   | 事業実施<br>区市町村の増加 | 事業実施<br>区市町村の増加 |

### 地域の実情に応じた“Chōju”の取組を支援



### 2030年への展開

- 都内全域に展開【2030年】
- ・地域の実情に応じて幅広くデジタルを活用し、誰もが心豊かに自分らしく暮らせる“Chōju”社会を実現



### 3. 生涯を通じたキャリア・アップデートプロジェクト

○ 現役世代から高齢者までの幅広い層が、スキルや知識を常にアップデートできる、新たな時代にふさわしい社会人教育を展開



#### 3か年のアクションプラン (主要)

| 具体的な取組                              | 2020年度末 (見込み) | 年次計画                             |                |        |
|-------------------------------------|---------------|----------------------------------|----------------|--------|
|                                     |               | 2021年度                           | 2022年度         | 2023年度 |
| 東京リカレント大学 (仮称) プロジェクト               | —             | プラットフォーム構築                       | 動画コンテンツ等を拡充    |        |
| しごと支援<br>キャリアアップ・キャリアチェンジにつながるプログラム |               | デジタル関連のプログラムなど時代のニーズに応じたメニュー等を拡充 |                |        |
| 都立大学<br>プレミアム・カレッジ                  | 専攻科設置         | 研究生コース新設                         | 最大4年間のプログラムを展開 |        |

#### 2030年への展開

- 若者からミドル、シニアまでの幅広い層がスキルや知識を常にアップデートできる社会人教育が充実
- 誰もが生涯を通じ、年齢やキャリアに関わらず新しいことに挑戦できる社会が実現



## 1. インクルーシブシティ東京プロジェクト



○東京で働き、暮らす誰もが、共に交流し、支え合う共生社会「インクルーシブシティ東京」を実現するため、様々なシーンで多様な人が共に支え合う環境づくりを推進するとともに、一人ひとりがお互いを認め合い、尊重し合う社会を実現





## 2. 「みんなの居場所」創出プロジェクト



- 子供・若者、子育て中の方、外国人、高齢者、一人暮らしの方など様々な人が集い、交わり、悩みを分かち合える
- 様々な形の「居場所」を、リアルとオンライン双方の強みを活かして地域の至る所に創出する区市町村の取組を強力に支援



多様な主体が連携・協働し、学校を核とした、多面的な機能をもつ「居場所」を創出

子供と大人がともに学び、体験し、つながることができる場を創出

地域の多様な主体: 地域住民, 町会・自治会, NPO, 民間企業, スポーツ・文化団体 等

学校

連携・協働

みんなの居場所: 学びの場, 体験の場, 交流の場

学校を核とした地域コミュニティの活性化

---

緑道など地域の「緑」を活用し、人々が憩い、体験できる「居場所」を創出

緑あふれる空間

誰もが訪れたいような居場所を創出

「緑」を活かした様々な機能: 農園, イベント, 憩いの場

みんなで作作物や植物を栽培

農園の収穫物を販売

子供も大人も歩いて楽しい空間

---

リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッドな「居場所」を創出

ハイブリッドな居場所: リアルでもオンラインでも参加できる

リアル

オンライン

新たな多世代交流: 若者がシニアにデジタルツールの使い方を教える

リアルでつながりを構築

オンラインで気軽な参加を促進

デジタルツールの利用支援を通じて多世代交流を促進

「新しい日常」にも対応した居場所

### 3か年のアクションプラン（主要）

| 具体的な取組                  | 2020年度末<br>(見込み) | 年次計画   |                 |                 |
|-------------------------|------------------|--------|-----------------|-----------------|
|                         |                  | 2021年度 | 2022年度          | 2023年度          |
| 区市町村の先駆的・分野横断的取組を包括的に支援 | 新たな補助スキームの制度設計   | 2自治体   | 事業実施<br>区市町村の増加 | 事業実施<br>区市町村の増加 |

### 2030年への展開

■ 都内全域に居場所を1,000か所創出【2030年】  
・誰もが求める「居場所」につながる社会を実現

## 第12期生涯審におけるキーワード(事務局案)

- ◇「東京型教育モデル」:
  - ・外部人材の積極的活用
- ◇「Chōju社会 東京」:
  - ・多様な主体との連携(企業、大学、NPO等)
  - ・デジタルを活用した安全・安心
- ◇「リカレント教育」:
  - ・生涯を通じた学び
  - ・セカンドキャリア形成
- ◇「インクルーシヴシティ東京」:
  - ・多様な人が共に支え合う環境づくり
- ◇「地域に多様な居場所の創出」:
  - ・子供・若者、子育て中の方、高齢者、障害者、外国人たちが集い、交わり、悩みを分かち合う様々な形の居場所
  - ・リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッドな居場所

すべての取組でSDGsの視点を反映

# 第12期生涯審における審議の進め方(予定)

## 〈東京都が抱える政策課題 例〉

地域の拠点である学校を、子供の成長や地域住民の活動を支える社会の重要なインフラとして位置付ける

子供たち一人ひとりに応じた多様な学びの場を創出し、一人ひとりの子供をきめ細かくサポート

シニアライフを輝かせる  
(働く・学ぶ・趣味・地域参加・・・)

生涯を通じたキャリア  
アップデート

人が集い、気持ちを分かち  
合える「居場所」の創出

新たなつながりを生み出し、  
コミュニティを元気にする

これからの地域コミュニティづくりに貢献する都立学校

今後審議の進め方(案) 本年夏まで

〔第2回〕(2月25日)

現行の都立学校開放事業(公開講座、施設開放)の課題整理

〔第3回〕

これからの地域コミュニティづくりに貢献する都立学校の在り方(意見交換)

〔第4回から第6回〕

・テーマごとの審議

(青少年、高齢者、障害者、外国ルーツ、地域コミュニティづくり・・・)

※委員からの提案を予定

〔第7回〕

・これまでの審議の論点整理